

多剤耐性菌に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、最近マスコミ等で、院内感染の原因菌として「多剤耐性アシネトバクター」と新しい耐性遺伝子をもった菌「NDM-1」が話題になっております。当社の対応と致しまして、多剤耐性アシネトバクターに関しましては、目的菌としてご依頼頂いた場合に、報告書に表現させて頂くことに致しました。是非、院内感染対策の一環としてご利用ください。また、「NDM-1」につきましては現在のところ受託はいたしておりません。

敬具

記

●多剤耐性アシネトバクターについて

アシネトバクターは土壌や水の中によく見られる環境細菌で、通常は無害です。日和見感染すると、肺炎、敗血症、尿路感染症、髄膜炎などをひきおこします。治療には抗生物質が使用されますが、多くの抗生物質(アミドグリコシド系、フルオロキノロン系、カルバペネム系)が無効な場合、多剤耐性アシネトバクターと表現しています。

ご利用の場合、目的菌として多剤耐性アシネトバクター(MRAB)とご依頼ください。

【目的菌コード】

| 目的菌コード | 目的菌名 | 備考 |
|--------|---------------------|--|
| 3160 | 多剤耐性アシネトバクター (MRAB) | ①左記の菌を目的菌とする際は必ず感受性検査をご依頼下さい。 ②材料より左記の菌が検出された場合と目的菌がある場合は追加料金として 300 円が別途かかります。 |

●NDM-1 について

インドのニューデリーで分離されたことから名付けられた菌で、主にメタロβラクタマーゼを産生する大腸菌や肺炎桿菌を指します。NDM-1 産生菌がどうかの確認には遺伝子検査が必要ですが、現在のところ受託しておりません。

【受託開始日】

■平成 22 年 9 月 14 日(火)より

